

## 海外食料需給レポート (Monthly Report) のポイント 国際的な穀物等の需給の見通し (2009/10年度)

穀物全体、油糧種子ともに生産量は消費量を若干上回ると見込まれるものの、今後、作付、生育期を迎える南半球の動向等に注視が必要。

穀物全体の期末在庫率は20.6%と昨年度(20.8%)並みで、FAOの安全在庫水準(17~18%)を上回る見込み。

### ○主な品目別の需給

#### 小麦

世界的に豊作となった前年度より生産量は減少するものの、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：663.7百万トン(▲2.7%)、消費量：646.1百万トン(+1.6%)】

- ◇米国やカナダの春小麦が収穫中
- ◇豪州東部でエルニーニョの影響による乾燥懸念
- ◇アルゼンチンで干ばつによる作付け減少、生育懸念

#### とうもろこし

前年度より生産量は増加するものの、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：794.1百万トン(+0.6%)、消費量：799.6百万トン(+3.2%)】

- ◇米国でエタノール原料用需要の増加
- ◇アルゼンチンは作付中、ブラジルの作付けは10月中旬以降

#### 米

前年度より生産量は減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：433.5百万トン(▲2.5%)、消費量：438.0百万トン(+0.5%)】

- ◇インドでモンスーンの遅れによる作付面積の減少

#### 大豆

面積の増加から生産量は前年度を上回り、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：243.9百万トン(+15.8%)、消費量：231.6百万トン(+4.6%)】

- ◇中国で大豆(搾油用)の需要の増加
- ◇南米の作付けは10月中旬以降であり、今後の作付動向に注視

### ○国際貿易等に関する動向

インドでは、米の輸出禁止に加え、小麦についても米の減産見通しから7月13日に加工品を除き、輸出が再度禁止されている。